

3 すべての人に
健康と福祉を



あなたは健康ですか？

健康って何だろう？けがをしていない、虫菌がない、病気でない……人によってそれぞれの違った感じ方がありますよね！世界保健機関憲章では「健康とは、**身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされた状態のこと**」だと言われています。

あなたは今、健康ですか？無理をして働いていませんか？いじめられていませんか？だれかを無意識に傷つけていませんか？どれだけの人が健康だと言えるでしょうか。また世界に目を向けてみると、発展途上国等では、生きるうえで最も基本的だともいえる身体的健康が保障されていない国も多いですね。私たちにできることはあるのでしょうか？

① 5秒に1人が亡くなる世界

世界的にみると2017年に死亡した15歳未満の子供の数は推定**630**万人。

5秒に1人の割合で亡くなっていることになります。

栄養不足、水の衛生状況が悪い、医師の立ち合いなしの出産などの理由が挙げられます。

これらの原因の多くが**予防可能**なものなのです。

医師団の派遣、ワクチンの接種、きれいな水の確保、安定した食料生産、トイレや下水処理施設の建設など多くの支援が必要です。世界中の何百万人という数の子供たちが出資や生まれた場所によって**命**を左右されています。

※参照 [公益財団法人日本ユニセフ協会 2018年9月18日プレスリリース](#)



② あなたはSOSをだせますか？

日本では、10代の子供の死因の一位が**自殺**で、大人まで含めると年間**2万人**以上が自殺しています。この人数の多さはG7の中で**日本だけ**です。年々、大人では減少していますが、未成年者では減少していません。10歳代での自殺動機は、学校問題、健康問題、家庭問題が特に多く、健康問題以外では横ばいか増加傾向にあります。

子どもに対する「**助けをを求めること**」の教育、また、子どもたちからの**SOS**を見逃さないという意識づくりが必要です。そして、このような意識を社会全体で共有していかなければなりません。

出典：[厚生労働省 令和元年版自殺対策白書](#)



③ お力添えをお願いします

ここまでご紹介できた問題はほんの一部です。まだまだ解決しなければならない問題は山のようにあります。この山は皆さんの協力がなければどうにもできません。

ぜひ次のことを実践してみてください！

1)知る

あなたが住んでいる地域だけでも、すべての人が健康だと言えますか？すべての人が**希望**に添った福祉を受けることができますか？また、不公平さを少しでもなくすためにどんなことが行われていますか？まず始めは**知る**ことです。



2)行動する

自ら助けたい人のもとへ赴けばいいのですが、あまり現実的ではないですよね。私たちが簡単にできる支援といえば、「**募金**」があります。今はなんと**インターネット上**で募金ができます！少額から、余裕があるときだけでももちろん大丈夫です。募金先によっては毎月決まった金額を自動で寄付することもできますよ。

例) [インターネットバンキングでユニセフ募金 | 日本ユニセフ協会 \(unicef.or.jp\)](#)
[寄付する | 赤い羽根共同募金 \(akaihane.or.jp\)](#)

3)広める

現在は個人が簡単に情報を発信できる時代ですが、取得する側は基本的に自分が興味のあるものしか受け取ろうとはしません。しかし、知っている人が発信したことには多少の興味を持ちませんか？

皆さんが発信する側になってくださることで、さらに多くの方に**興味**を持っていただけるため、より多くの方に問題解決への**活動に参加**していただけるようになるのです。

あとかき

私たちは「すべての人に健康と福祉を」という目標について、皆さんに知っていただきたく、この記事を作成しました。特に、「健康」は人間が生きている以上、とても大事なことだと思いますので、この目標は一刻も早く達成しなければならないと感じました。誰でもどこでも健康に生きる事ができ、適切な福祉制度を選択・利用できる世界が当たり前になるよう、世界の人々が協力し合えばよいと思っています。

環境 ISO 学生委員会 井能蘭 遠藤凧紗 和田祥彦 佐久間璃子 栢多愛弥

